



# 大樹のこころ

## 緊急時下校

本日の緊急時下校への対応、ありがとうございました。大変スムーズに下校を行うことができました。保護者の皆様の協力のおかげと感謝しています。

さて、今回のような緊急時に学校はどのように動いているのかをお伝えします。気象庁の予報を参考にしながら対応を考えるのがスタートです。緊急時下校を想定した場合、近隣の学校の校長と情報交換をします。本日の場合は朝の6時半から7時の間に行いました。そこで「13時頃に下校を行う」という大筋が決まりました。それを受けて、本校の役職の先生と具体的な対応策を練っていきます。具体策が決定したのが8時50分。保護者へのメール配信が9時15分。学年主任の先生に対応策を伝えたのが9時30分。ここから本格的に下校対応ミッションが始まっていきます。

まずやらなくてはいけないのが「給食時間の変更」です。配膳員さんをお願いして通常より1時間早く給食の時間を設定しました。給食を終えると帰りの準備です。実はここが大変です。子供たちの下校方法に合わせて対応しなければなりません。基本的には、子供は徒歩で自宅に下校します。しかし、育成センター・こどもの家・学童などを利用する子やデイケアに通う子もいます。また自宅ではなく親戚の家へ帰るといった子もいます。中学生ならばどこに帰るのかは自分で判断できますが、小学生ではそうはいきません。下校先別に子供たちを仲間分けする必要があります。育成センターの子は家庭科室に、こどもの家・学童の子は会議室に、デイケアの子は水族館近くの廊下に集めていきます。さらに保護者のお迎えになる子もいます。その子たちは図書室が控室となります。教室以外の場所に子供を集めさせるには時間がかかります。お迎え下校の希望や下校先の変更は12時30分までにネットでご回答するようにお願いしていますが、これは上記の仲間分け作業のために時間が必要となるからです。今回の下校時刻13時15分ぎりぎりになって、変更の回答をしてきた家庭が数件ありました。今後このようなことがないようにお願いします。

昨年の6月2日に大雨による深刻な被害がありました。その際にも緊急下校を行いました。様々な混乱がありました。しかし今回は、ほとんど混乱なく落ち着いて下校を行うことができました。大きな要因はネットの活用です。上記のように緊急時には電話対応する余力がありません。今後も同様な事態



- 下校方法調査用紙に明記された先へ、子供が徒歩で下校する。
- 調査用紙と異なる下校を希望する場合は、**ネットで連絡する**。
- 保護者がお迎えの場合は、**車は控える**（徒歩で来校する）。
- 電話回線の確保のために、**学校への電話は控える**。

が起こりうるかもしれません。今回の下校対応を基本として行っていきます。ご理解くださいますようお願いいたします。